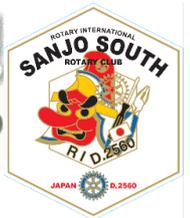




三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2024-25 クラブテーマ **親睦から始めよう**



2025. 6. 9

次年度事業計画発表 2

No.2527 No. 37



会長挨拶

三条南ロータリークラブ
会 長

永桶 俊一

ロータリー財団において、寄付金総額は3億6650万ドルで、総支出が3億4350万ドルのうち1億5700万ドルはポリオ撲滅に使われています。総支出の45.7%はポリオ撲滅に使われ、ロータリー財団の支出のメインはポリオ撲滅のためになっています。1億5700万ドルのうち、1億ドルはビル&メリンダ・ゲイツ財団からポリオ撲滅のための支援を受けています。

1億5000万ドルは日本円で220億にもなりますが、これは毎年4億人以上の子どもの予防接種、ポリオウイルスの発生状況・感染原の調査・監視、予防接種を行うための15万人の保健従事者の雇用に使われています。日本ではポリオは根絶していますが、野生株型ポリオの常在国のパキスタン・アフガニスタンから持ち込まればポリオの脅威にさらされるため、ワクチンはやめられません。

常在国で野生株型ポリオの根絶がなされれば、世界中でワクチン接種が終了になります。

日本では新生児が90ヶ月になるまでの間にポリオを含む五種混合ワクチンを4回接種しています。

不活化ポリオワクチン代5450円×日本の1年間の新生児数68万人で おおよそ37億円が毎年かかります。4回接種が必要なので、その年生まれた子供全体に対して148億円もの税金が使われます。

ポリオが根絶されればこれが不要になり、医療費の負担も減ります。

ポリオ根絶運動により1988年以来すでに270億ドルの医療費が節約されています。

自分の子供の医療負担軽減のためにも、根絶を急がなければなりません。

私たちがすぐにでもできることは

- ① ポリオ根絶の意義の理解を深めること
- ② ポリオ根絶に向け、クラブの奉仕活動で地域に知ってもらうこと
- ③ ポリオ根絶に取り組んでいる仲間の活動をSNS等で発信
- ④ ポリオ根絶のための募金活動

当クラブでは毎年一人30ドルの寄付をしています。それだけでなく4/19の三条市合併20周年の森山良子コンサートの時に行ったポリオ募金をさまざまなイベントで行うと同時に、活動を世に広めて発信していく事。そしてポリオ根絶の意義を理解してもらう事が大事だと思います。

◆本日の出席：38名中27名

◆先週までの通算出席率：89.22%

◆本日のビジター：杉山幸英さん（第四分区ガバナー補佐・三条 RC）小林吾郎さん（会長ノミニー・三条 RC）

◆先週までのメイクアップ▶6/7~8 復興支援能登旅行へ永桶俊一さん、田中康之さん、木村譲さん、加藤一芳さん、石山昌宏さん、江花正高さん、桑原朋子さん、坂井範夫さん、田代徳太郎さん、野崎正明さん、廣岡頼子さん、藤田寛嗣さん、星野健司さん

◆幹事報告 田中康之幹事

◇「2025-26年度クラブ活性化セミナー」のご案内
(会員増強、単踰ぎ計画、広報・公共イメージアップ)

▷日時：2025年7月26日(土)12:00~▷場所：ホテルオークラ新潟▷参加者：田代徳太郎会員増強委員長

ニコニコボックス

6/9 13,000円 本年度累計 664,000円

杉山補佐(三条)「1年間皆様の御支援とご理解有難う御座居ました

永桶会長「本日はガバナー補佐杉山様、小林様、お忙しいところ訪問いただきありがとうございます」

田中幹事「本日は杉山ガバナー補佐、小林次年度会長エレクトようこそお出で下さいました」

木村譲さん「土日の旅行の皆様お疲れさまでした。また、本日は杉山ガバナー補佐、小林次年度会長エレクトようこそ三条南へお出で下さいました」

坂井さん「杉山ガバナー補佐よろしくお願ひ致します」

加藤さん「小林吾郎さん、杉山幸英さんようこそいらっしゃいました」

藤田さん「旅行に参加された皆様お疲れさまでした」

銅冶さん、熊倉さん、石山さん、関さん
「BOXに協力します」

渡辺(俊)さん「BOXにご協力ありがとうございました」



国際ロータリー会長 ステファニー A.アーチック (米国)
第2560地区ガバナー 南雲 博文 (長岡)
第4分区ガバナー補佐 杉山 幸英 (三条)
会 長 永桶 俊一
幹 事 田中 康之
SAA 関 博市

事務局
〒955-8666 三条市町2-5-10
三条信用金庫本店内
TEL0256-35-3477
FAX0256-32-7095
E-mail info@sanjo-minami.jp
URL https://www.sanjo-minami.jp

1年間ありがとうございました



RI2560 地区第四分区ガバナー補佐
杉山幸英さん（三条）

変化の多い年度でしたが、皆様のご理解とご協力で一年間活動して参りました。御礼申し上げます。

2025-26 年度事業計画発表②

---発表内容は前号No.36に掲載したため省略します---

- ◆創立 60 周年記念事業準備委員会 野崎正明委員長
副・船久保孝志 副・荒澤威彦 長谷川直哉
- ◆会員選考・ロータリー情報委員会 熊倉高志委員長
副・永桶俊一 松崎孝史
- ◆ニコニコボックス 中村靖委員長
副・熊倉高志 銅冶康之 坂井範夫
- ◆クラブ会報 榎本剛彦委員長
副・田村隆雄 田中康之 荒澤威彦
- ◆奉仕プロジェクト及び公共イメージ
【奉仕活動・広報部門】 松崎孝史副会長
職業奉仕 平松修之委員長
副・太田義人 佐々木常行 丸山智
- ◆社会奉仕 田中康之委員長
副・布施純也 江花正高 峰嶋由紀子
- ◆青少年奉仕 藤田寛嗣委員長
副・渡辺和宏 石山昌宏 加藤峰孝
- ◆国際奉仕・青少年交換 丸山智委員長
副・銅冶康之 渡辺和宏
- ◆ロータリー財団 石山委員長
副・大原知弘 草野利巨輔
- ◆米山記念奨学 坪井康紀委員長
副・永桶俊一 廣岡頼子



復興支援 能登旅行 (6/7~6/8 13名)

先週の土日で能登復興応援の旅に行っていました。土曜の12時に出発して、和倉温泉で唯一団体旅行を受け入れている『のと楽』というホテルで、加賀屋総支配人の道下さんから災害危機管理セミナーを聞きました。

のと楽の隣の『寿苑』というホテルは解体中で、ほかにもう1件解体中のホテルもありました。

昨年の元旦に地震が発災し、加賀屋さんに泊まっていた533名もの人を安全に避難所に誘導し、着の身着のままのため、ホテルから布団を運び、夕食用のごはんでおにぎりを作り、避難所に運び、翌日は電車で来られた約220名もの方を金沢駅まで加賀屋さんのバスで運んだというお話を聞くことができました。避難所では布団・おにぎりは加賀屋さんの宿泊客のみならず、避難所にいた2000人以上の人にも対応したところが感動いたしました。

きっと今回被災した加賀屋さんの宿泊客のみならず、加賀屋さんのおもてなしを受けた方は加賀屋さんが復活した際はまた来ていただけるものと思います。

和倉から穴水まで行きましたが、道路は崩れて、山側を削り、応急の道で通れる状態で、道はうねって、20kも出せないところも多かったです。

能登半島地震は中越・中越沖地震よりその範囲は広く、傷は深いと感じました。

復旧は少しずつ進んでいますが、復興にはほど遠いと痛感しました。

行かれたメンバーからお土産をいっぱい買っていたとき、少しは復興のお手伝いをさせていただいたように思います。参加されたメンバーに感謝申し上げます。

(永桶俊一会長)

